

あなたにはなせ来ない？ 。婦人寮は待っている。。。

日本の恥部といわれた赤線地帯が、売春防止法に洗われてから一年、そこをうごめいていた女たちはどうなつたか。世間の関心がうすれるにつれて、ゆがめられた形の新しい赤線地帯さえうわさされる時、彼女たちに更生の手をさしのべている婦人寮の実態は？……

(写真上は、寮の縁先でくつろぐ午後のひととき)

施設 訪問

もつと利用者を……★

めつきり春めいた陽ざしの中に、開所して三カ月という婦人寮のスマートな平屋建が、青麦と菜の花に彩られた健車の郊外に、「売春」などとはおおよそ、はらな明かるいシルエットをえがいている。

ペンキの匂いも生々しい応接室で、隅倉所長は語る。

「何しろ十二月に開いたばかりで、何もかも不足だらけですが、中でも一ぱん不足しているのは入所者の数です。三十人の定員に目下十三人、全国平均の四〇%を稍上回る程度で、もつともっと利用してもらいたいというのが最大の念願です。」

自由な入所条件……★

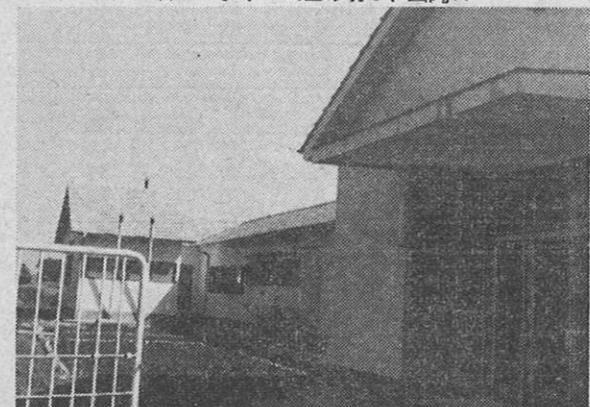
「どうしてそう少いのですかね」
「要するに広報の不十分と社会の無理解ということになるでしょう。ここに入つた人は売春の前歴者だという冷たい眼で見られるというのです。そこで最近では収容の条件を広げて、転落のおそれあるもの、つまり家出娘などで家へ帰れず、ほつとけば危いというような人も入れることにしました。」

「いきなりこゝへ来ればいゝのですか」
「いや一応婦人相談所に行つてもらつて、あちらで適格者をきめてからこゝへ収容を依頼されるという形にしています。」

「どんな条件で入れますか」
「大体半年から一年位を期間にして、住居、食費、日用品は全部こちら持ちそれに職業指導として器械編みものをさせていますが、工賃もそっくり渡しますから小使いもいりません。入所退所にも拘束はなく、本人の自由を尊重します。」

「それじゃボタモチでホッペタてすね。」
「と思いますが、やはり放つた暮しをしていた人にはききうくつかも知れません。」
「炊事は自分たちで」
「いやそれも炊事婦がいますから手伝

★……クリーム色の明るい玄関口



★……仕事を新しいよろこびがわいてくる

「この程度です。」
「外出は？」
「二応届けてもらいますが別にむずかしい制限はありません。」
「レクリエーションとしては？」
「それが目下のところ不足しています。ラジオ2台、パドミントン、花の栽培などというところ。四月にもなつたら予算も少しふえそうですから週一回位茶や生花それに映画見せたいと

★……明るい清潔な環境で……★

「つれだって所内を一巡。先ず指導室に入ると壁ぎわに大型の編みの器械を操作する婦人が二人、ハンドルをカチャリとやると巾一米ほどが一べんに編める。」
「早い人は一時間にセーター一枚分位あみます。もつともとじつけは別です。」

「この室の半分は食堂になつている。居室は六畳じきが七つ、七・五畳と九畳が各一の計九室、何れも清潔で明るく、ヘタな宿屋よりも感じがよい。」
「浴室、便所、洗濯場、なども完備しております。一番はしつこに十二畳の教養室とい

「思っています。」

「読書は？」
「これも予算不足で入手難ですが」
「月おくれの雑誌位なら寄付募集だつて集まるでしょう。」
「そうできれば有難いですが」

「うがある。」

「いゝ部屋ですなア、こゝで何をするのですか。」
「今のところ週三回私が公民講座みたいなことをしていますが、他の集会にも使います」
「短歌会や俳句会にもつてこいですな。」

「ゆくゆくはそんなこともしたいと思つています。」
「満洲在任の頃からホトトギスに投句していたという隅倉所長はきつと実現するだろう。」
「つい目と鼻の江津湖が木の間にチラリと光つてみえた。」

- (婦人寮のあらまし)
- 場 所 熊本市健軍南町
- 敷 地 五六〇、六七坪
- 建 坪 一三八、〇〇坪
- 総工費 五、八九二、〇〇〇円
- 竣 工 昭和三十三年、七、一〇

新しく更正したいと思う人の悩みはいろいろに多いかと思ひます。どんな細かいことでも結構です。遠慮なく相談をお申出下さい。

熊本県婦人相談所
(熊本市内坪井町)



提灯と旗が足りない御成婚
昼は旗、夜は提灯で四つの島が埋まつた四月十日は日本の結婚から封建色が拭い去られる記念日でもあつた。

八日目は元の女房にされている
婦人週間だけ女の地位を認めても、のど元過ぎれば封建家庭へ逆もどりは何にもならない。

南米に熊本村がまた育ち
移住率日本一をほこつてきた熊本、その名声を維持するためには、海外発展の伝統精神昂揚が第一。
遠足の夜医者が来る仕儀となり
前夜つくつた弁当の不注意から遠足のたのしさもメチャメチャ、修学旅行の集団中毒もこの際と知るべし。

婦人寮知らざあいつて聞かせやしよう
この結構な施設を知らぬがゆえの利用不足は惜しい限り、本号記事をご覧の上ぜひご利用のほど。
日展でわかる絵もあることを知り
アプストラクトで絵はわからぬものと
きめた人も、日展を見て故郷に帰つた感じ、ともかく一度はぜひ。